

さくら第558号

令和8年 6月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7・Tel.51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

オかんも
 りんごも
 おたがいに
 くらべっこも
 競争もしたけれど
 それをねに
 いちいちばに
 じぶんの
 花を味かせ
 じぶんの実を

『カ・キ・ク・ケ・コで過ごそう』

クイズです。1歳の幼児でも100歳の高齢者であっても男子や女子の区別なく日本人、外国人にも同じように与えられ誰にも取られることなく、増やすことも減らすこともできないものは何でしょうか。

それは時間です。1日24時間、1年365日で8,760時間をどのように使うかは人それぞれに違います。その時々々の健康状態や気持ちにより、同じ時間が長く感じる時やアツと思うほど短い事がよくあると思います。

嫌なことやキライな事など気の進まない時は長く感じますが、好きなことや自分からやろうと思う時は時間を短く感じ、疲れもなく終わったあとは気持ちよく楽しいものです。

同じ時間なら明るく楽しく元気よく過ごしたいものです。そのためにはその時々々の気持ちの持ち方が影響します。

最近、どんな事に感動しましたか。歩いていたらかわいらしい白い花がそよ風に小さく揺れているので思わず立ち止まり見ていた。県外の中学へ転校した友だちからの電話に嬉しくなったなどいろいろあります。

私が感動したことの一つに、もう40年ほど前ですが夜の8時ごろ家の玄関を開けて出た時にすぐ足元でセミが羽化(うか)しているのを発見し家族をそっと呼び4人で見ていました。

夏になるとセミの抜け殻をよく見つけますが今まさに羽化の真っ最中です。通常なら夕方に土から出てきて木に登り始め夜7時ごろから羽化を始めカラから出てきて完全に羽化が終わるには2時間～3時間かかるといいます。

なぜ、木ではなく玄関先のコンクリートの上なのかは知りませんが、4人とも身動きせずじっと観察していました。

やがて純白の羽が見えてきます。そして空気に触れるからか羽がだんだん大きく広がりカラからは想像つかない大きさになり、今にも飛び立ちそうなのでその場をそっと去りました。1時間あまり無言の感動の場は今も鮮やかに思い出します。

家の周りに置いてある植木鉢のイチゴの実が日ごとに赤みを増し太陽の温かさが甘みを増やしています。この鉢の実実は今日は採るのをやめて明日まで待とう。そして翌日に熟れた実を手にとると嬉しくなります。身の周りで起きるささいな事にも大きな感動があり、気持ちの持ち方ひとつで得られます。

同じような内容でも緊張する場とそうでない時があります。塾での試験なら気分的には安心しますが、外部の広い会場で知らない人たちに囲まれての試験となれば緊張し、指先が震えることもあるでしょう。

学校での試験が続くと成績が気になり疲れます。宿題、予習と復習、またテストなどが続く時には気分を変えてくつろぐことが必要です。

同じような姿勢でスマホを見たりメールしないで、ときどき休みましょう。くつろぐ時間も大事であり、次の集中力への準備です。

何かを変更したり、今行なっている事をそのまま続けてよいかどうかを決めねばならない時があります。どのような方法でするかなどその時々で決断せねばならない、それも今すぐに判断するとなれば責任重大です。年齢を増すごとに決断する事が多くなります。

日々の生活を楽しく充実するには好奇心を持つことだと思います。未知のものや新しいことに対して知りたい、体験したいと強くひかれる心の動きです。成長し学びや経験を深めていくための原動力になります。

カは感動、キは緊張、クはくつろぐ、ケは決断、コは好奇心です。同じ時間でも刺激ある行動や考え方が心身を磨き楽しくさせます。

川を見る
バナナの皮は
手より落ち

季節Ⅱ
バナナ(夏)
高浜虚子

川を見ていると、
バナナの皮が
手から滑り落ちた。